# JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手写真館

**********

開催日： 2018 年 9 月 23 日(日)

午前の部　受付開始 08:30/選手入場 09:15/開会式 09:30/試合 10:00～11:55/閉会式 12:05
午後の部　受付開始 12:30/選手入場 13:15/開会式 13:30/試合 14:00～15:38/閉会式 15:45

会　場： 遠野運動公園陸上競技場(遠野市青笹町鈎糠前 11-1)
主　催： 公益財団法人日本サッカー協会/公益社団法人岩手県サッカー協会
主　管： 公益社団法人岩手県サッカー協会
後　援： 岩手県/遠野市/岩手県教育委員会/遠野市教育委員会/公益財団法人岩手県体育協会/
遠野市体育協会/岩手日報社/IBC 岩手放送/テレビ岩手/めんこいテレビ/岩手朝日テレビ/遠野テレビ
**特別協賛：株式会社ユニクロ**
**スペシャルゲスト：グルージャ盛岡　菊池利三監督と選手・コーチ**
運営スタッフ： 岩手県サッカー協会キッズ委員会スタッフ/遠野市サッカー協会スタッフ/
遠野市職員/富士大学サッカー部/遠野高校サッカー部/遠野高校サッカー部
内　容： 6 人制ゲーム(1 チームあたり 3 試合)、サッカーアトラクション
試合時間：前半 5 分、後半 5 分、1 ピッチのサイズ：26m×13m 程度(午前 10 ピッチ、午後 4 ピッチ)
対　象： 6 歳以下の未就学児で、6 人以上で構成されたチームか個人
(小学生は不可。サッカー経験の有無、男女は問わない。)
マスコット：岩手県 PR キャラクターわんこ兄弟の「おもっち」
遠野市公式キャラクター「カリンちゃん」「くるりんちゃん」
運営スタッフ： 108 名
**参加者： 465名 (男313名、女152名) うち個人参加198名(男 155 名、女 43 名)**

**選手入場・開会式・閉会式・準備体操(わんこダンス)の様子**

（公社）岩手県サッカー協会　佐藤訓文会長より主催者代表のあいさつ

午前の部全体記念写真の様子

午後の部全体記念写真の様子

スペシャルゲスト　グルージャ盛岡　菊池利三監督と選手・コーチの皆さんにも子どもたちのゲームに参加していただきました。

## 試合の様子

サッカーアトラクションの様子

午前・午後の部 閉会式表彰状授与・お見送りの様子

## ＜参加者・保護者のコメント＞

遠野市　チーム参加保護者　菊池　望美さん

年長になって初めて参加させて頂きましたが率直にとても楽しかったです。子供達の喜ぶ顔や一生懸命な姿を見て少ないながらのチームワークに感動しました。6 歳までの縛りがあるので来年は参加出来ないのが残念です。小学生低学年あたりまでの年齢幅があるといいですね。

遠野市　チーム参加引率者　立花　聖子さん

自分の子どもが出てなかったので、引率してみてですが、子ども達は楽しそうにサッカーしていました。やはり、同じ保育園でチーム組んだほうが、より楽しめたのかなと思います。来年は次男が出れる年齢になるので、ぜひ連れて行きたいです。

遠野市　チーム参加保護者　小松　達也さん

私の想像以上に子供たちが本気になって、楽しんで、そして笑えるサッカーでした。来年もチャンスがあるので参加できたらと思います！勝敗がないサッカーがこんなに楽しいとは思ってもみませんでした。

遠野市　チーム参加保護者　佐々木　一樹さん

子どもと大人のきらきら輝く笑顔がピッチいっぱいに広がっているのが印象的でした。スポーツは、する人も見る人も楽しむものということを改めて気付くきっかけをいただいた、ユニクロをはじめとしたスポンサーの皆様や、イベントの運営にご協力いただいたサッカー協会や学生スタッフの皆さんに感謝申し上げたいと思います。

## ＜運営スタッフのコメント＞

JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手に参加された皆様、当日はお疲れさまでした。午前の部・午後の部と参加させていただき、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。遠野陸上競技場の天然芝はサッカーをするには最高のピッチコンディションでした。参加してくれたキッズ選手はとても明るく、元気に転んでもすぐ立ち上がりボールを一生懸命に追いかける姿はとても頼もしく感じました。また、女子キッズもたくさん参加していたのも印象に残りました。今回は、グルージャ盛岡の選手・スタッフも参加させていただき子供たちから元気をもらいました。感謝いたします。今度は、我々も日頃、応援していただいている感謝の気持ちをプレーでお見せいたしますので、いわぎんスタジアムに是非お越しください。よろしくお願いいたします。

＜スペシャルゲスト＞
グルージャ盛岡　監督　菊池利三

ユニクロサッカーキッズにご参加頂きありがとうございました。スペシャルゲストという形で参加させて頂き、子供達の元気にボールを追いかける姿に癒され、いっぱい元気をもらいました。今回参加してくれた子ども達には是非、サッカーに限らず色んなことに挑戦していってもらいたいと思います。最後になりますが、是非機会がありましたら、いわぎんスタジアムの方に足を運んで頂き、グルージャ盛岡を応援してくださると嬉しいです。

＜スペシャルゲスト＞
グルージャ盛岡　選手　久保海都

今回のユニクロサッカーキッズを通して、普段はあまり関わることのない遠野の子ども達と触れ合うことができ、楽しい時間を過ごすことができました。岩手県の J リーグクラブとして、これからも地域貢献活動を増やしていきたいと思っているので、また機会があれば是非参加させて下さい。グルージャ盛岡の応援もよろしくお願いします。

＜スペシャルゲスト＞
グルージャ盛岡　選手　今関耕平

JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手に参加させて頂きありがとうございました。子ども達の元気にサッカーをする姿を見て、僕たちグルージャ盛岡は沢山のパワーと地域の皆さまとの繋がりを改めて実感しました。これからも遠野市をはじめとする岩手県の皆様のために全力で戦って参りますのでご支援ご声援のほどよろしくお願い致します。

＜スペシャルゲスト＞
グルージャ盛岡　選手　白石智之

澄み切った秋空の下、当日の会場となった遠野市運動公園陸上競技場は子ども達の真剣なまなざし、元気な声、そして、溢れる笑顔がいっぱいでした。「サッカーは楽しい！」を子ども達の笑顔から教わり、私たちスタッフも元気になった１日でした。来年も沢山の笑顔を、お迎えしたいと思います。

＜受付担当＞
遠野市　遠野市民センター　生涯学習スポーツ課　課長　朝倉　優香

キッズの子ども達が全力でボールを追いかけてサッカーを楽しんでいたので、サポートしてるこちらも楽しめました。アトラクションの方でも全力で楽しんでいて出来ないことを必死に出来るまで練習している姿をみていい刺激を受けました。
　今回のイベントでさまざまな事を学べたのでとてもいい経験になりました。

＜コート担当（午前）アトラクション担当(午後)＞
富士大学サッカー部４年　志村　大海

普段は教わる立場だけど今回教える立場になって指導者の大変さ、そして楽しさなどを知ることができました。また、サッカーの楽しさも感じることができました。今回の経験をこれからのサッカー人生に生かして行きたいです！

＜個人参加チーム担当＞
遠野高校サッカー部１年　鈴木駿介

ユニクロサッカーキッズの補助員をやって、楽しく子どもたちと触れ合うことができました。グルージャ盛岡の皆さんに会うこともできましたし、富士大学サッカー部の皆さんとも午後の部で一緒に、子どもたちと遊ぶことができたので良かったです。来年も手伝えることができたら、手伝いたいです。

＜アトラクション担当＞
遠野中学校サッカー部３年　新田夢祈

## 全体統括責任者からのコメント

「やった！」「すごくうれしい！」「もっとサッカーしたい！」「サッカー大好き！」
これらは、試合の合間に子どもたちに話しかけたときに言われた言葉です。参加した子どもたちが、このフェスティバルを通して、サッカーや運動の楽しさに触れていたことが伝わってきました。
うれしそうに話をしてくれる子どもたちを見ていると、私たちも幸せな気持ちになりました。
また、保護者の方々にも話しかけました。「サッカーが盛んな遠野で試合ができていいですね」「サッカーって面白いですね！」「芝生って気持ちいいですね」「サッカーはやっぱり最高です！」
１０回目を迎えた岩手でのユニクロサッカーキッズ。たくさんの方々のご尽力のおかげで、遠野市で２年連続２回目の開催となりました。

開会式からから元気な子どもたち。わんこダンスも初めてだという子どもたちも元気に踊ってくれました。ピッチの上では楽しそうにボールを追いかける場面がたくさん見られました！はじめてサッカーをする子、いつも楽しんでいるサッカーをさらに楽しむ子、たくさんの子どもたちがサッカーとふれあえていました！
スペシャルゲストのグルージャ盛岡監督菊池利三さんは、全てのコートをまわってくださいました。菊池監督もびっくりするくらいみんなが意欲的にボールを蹴ったり、走ったりしていました。参加した多くの子どもたちが、サッカーを楽しみ、サッカーを通じて仲間と関わる姿、多くの人とふれあう姿を見ることができました。

今回は、遠野開催にちなんで「かっぱ」を合い言葉に、スタッフ一同心を一つにして準備をしました。「か・感動」「つ・つなげよう」「ぱ・パッション（情熱）」ということです。（この合言葉は昨年度から引き続きのものでした）遠野中学校サッカー部、遠野高等学校サッカー部、富士大学サッカー部、社会人スタッフ、遠野市の方々、グルージャ盛岡の選手とスタッフのみなさん、スペシャルゲストの菊池利三監督とみんなで情熱をもって、参加した子どもたちが感動できるように準備をしました。
「子どもたちの笑顔がとても良いですね！」「楽しんでいて良いですね！」とたくさんの方々に言っていただきました。また、我々がみても、子どもたちが楽しんでいて、たくさんの感動を味わっていたように見えました。

幼児期には多くの動き作りが必要です。初めてサッカーをした子も、たくさんサッカーをしてきた子も、これからずっとサッカーを楽しんで、体を動かすことが好きになってほしいと思います。また、非認知能力ともいわれる見えない力の多くは、幼児期に育まれます。自分でやりたいと思えること、そして、やりたいと思ったことに挑戦する気持ち。これが U-6 の時期には大切です。頑張ったことを認める周りの働きかけは、最高の成長へとつながっていきます。今日集まった４６５人の子どもたちは最高の瞬間を味わえたと思います。また、そのきっかけ作りの日になったとすれば、主催者としてはうれしく思います。

最後に、今回の機会をつくってくださったユニクロ様、日本サッカー協会堀地様、西村様をはじめ、たくさんの方々のおかげでこのフェスティバルを行うことができました。
みなさんに感謝です！ありがとうございました。
全てを支えてくれたスタッフのメンバーに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

岩手県サッカー協会キッズ委員会では、子どもたちのためのサッカー環境を整える活動を２００４年からしております。サッカーの力を育てつつ、運動の力、体を動かす楽しさ、心・体・頭の健やかな成長のために、これからも力を尽くしたいと思っております。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

岩手県サッカー協会キッズ委員会委員長　　瀬谷　圭太